平成25年９月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年８月１日

上場会社名　　アクセルマーク株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　3624　　ＵＲＬ　http://www.axelmark.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）尾下　順治
問合せ先責任者　（役職名）管理部門担当取締役　　（氏名）渡邊　祐也　　ＴＥＬ　03-5354-3351

四半期報告書提出予定日　　平成25年８月13日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　有　　（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年９月期第３四半期の連結業績（平成24年10月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年９月期第３四半期	2,573	△10.6	20	△91.2	30	△86.4	21	△89.0
24年９月期第３四半期	2,877	－	230	－	228	－	193	－

（注）包括利益　25年９月期第３四半期　21百万円（△89.0%）　24年９月期第３四半期　193百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年９月期第３四半期	4.89	4.87
24年９月期第３四半期	43.32	43.21

（注１）平成24年９月期第１四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年９月期第３四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
（注２）当社は、平成25年４月１日付にて普通株式１株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年９月期第３四半期	1,876	1,516	80.8
24年９月期	1,974	1,494	75.7

（参考）自己資本　25年９月期第３四半期　1,516百万円　24年９月期　1,494百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年９月期	－	0.00	－	0.00	0.00
25年９月期	－	0.00	－		
25年９月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年９月期の連結業績予想（平成24年10月１日～平成25年９月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,567	△8.3	68	△69.9	77	△66.2	63	△66.9	14.41

当社グループの事業を取り巻く環境は急速に変化しているため、当社は四半期ごとの業績発表時に翌四半期の業績見通しを公表させて頂きます。詳細は四半期決算短信（添付資料）3ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無
新規　ー社　（社名）ー、除外　ー社　（社名）ー

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	有
②　①以外の会計方針の変更	：	無
③　会計上の見積りの変更	：	有
④　修正再表示	：	無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年９月期３Ｑ	4,370,900株	24年９月期	4,493,900株
②　期末自己株式数	25年９月期３Ｑ	ー株	24年９月期	123,000株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年９月期３Ｑ	4,370,900株	24年９月期３Ｑ	4,470,900株

(注)当社は、平成25年４月１日付にて普通株式１株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、3ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(株式分割について)

当社は、平成25年４月１日付にて普通株式１株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。このため、平成25年９月期の連結業績予想における１株当たり当期純利益の算出において、当該株式分割を考慮した4,370,900株を期中平均株式数として使用しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（５）セグメント情報等 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるモバイルインターネットを取り巻く環境としては、スマートフォンの保有率が平成24年11月の39.1%から平成25年２月には45.6%となっており、今後もさらに普及拡大するものと予想されております（出所：「全国スマートフォンユーザー1,000人定期調査」博報堂DYグループ・スマートデバイスビジネスセンター）。また、ゲーム関連市場については、平成24年度のソーシャルゲーム市場規模が4,351億円（前年比169%増）、スマートフォンゲーム市場が1,285億円（平成24年度より調査開始）となっており、特にスマートフォンゲーム市場が急速に成長しております（出所：「オンラインゲーム市場調査レポート2013」日本オンラインゲーム協会）。さらに、スマートフォン広告市場につきましても、平成24年度の市場規模は856億円に対して、平成25年度は1,156億円、その先も毎年２～３割増で伸長すると予測されております（出所：「スマートフォン広告市場規模の推移」株式会社シード・プランニング）。

このような市場環境の下、当第３四半期連結累計期間において、当社グループは引き続きソーシャルゲーム事業において安定的な収益体制の確立、広告事業及びコンテンツ事業においては、スマートフォン向けサービスの売上拡大に注力して参りました。

売上高に関しては、ソーシャルゲーム事業において、既存タイトルの売上高が徐々に減少する一方、新たに２タイトルの運営を開始することで売上高の底上げに取り組んで参りました。また、広告事業においては、スマートフォン向けアドネットワークの売上高が大きく伸長し、全社の売上高増加に貢献しております。

利益面に関しては、売上高の増加にともなう売上総利益の増加に加え、広告費及び人件費等のコストを一定程度抑制しているため、結果として、業績予想を上回る利益を上げることが出来ました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、前年同期比では減少となっているものの、本日付「業績予想と実績の差異に関するお知らせ」で開示させて頂いたとおり、売上高、利益面ともに業績予想を上回り、売上高2,573,305千円（前年同期比10.6%減）、営業利益20,316千円（前年同期比91.2%減）、経常利益30,943千円（前年同期比86.4%減）、四半期純利益21,382千円（前年同期比89.0%減）となりました。

各セグメントの業績は、次の通りであります。

（ソーシャルゲーム事業）

ソーシャルゲーム事業につきましては、平成25年３月に配信を開始したmobage版「王様ゲーム－共闘－」を平成25年５月よりmixi向けにも提供を開始し、また、当社のヒットタイトルである「天空のレギオン」においてサービス開始１週年を記念したイベントを実施するなど、ユーザーの満足度向上と売上増加に努めて参りました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,312,785千円（前年同期比15.3%増）、セグメント利益は61,109千円（前年同期比67.5%減）となりました。

（コンテンツ事業）

コンテンツ事業につきましては、前四半期と同様にスマートフォン向け電子書籍に注力しておりますが、携帯電話利用者のスマートフォンシフトが進みフィーチャーフォン向けコンテンツ市場が引き続き縮小しているため、セグメントとしての売上は減少傾向になっております。

以上の結果、当セグメントの売上高は571,722千円（前年同期比47.6%減）、セグメント利益は66,620千円（前年同期比63.0%減）となりました。

（広告事業）

広告事業につきましては、当社が注力しておりますスマートフォン向けアドネットワークにおいて、広告主の出稿ニーズが引き続き高まっており、売上は順調に拡大しました。その結果、広告事業の平成25年６月度のセグメント売上が当社としては初めて月商１億円を突破しております。

一方、海外事業につきましては、東南アジア地域を中心に新規事業開発を推進しておりましたが、当四半期において大きく収益貢献する事業の創出には至っておりません。

以上の結果、当セグメントの売上高は692,973千円（前年同期比4.9%増）、セグメント利益は72,137千円（前年同期比116.6%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が111,544千円、仕掛品が29,415千円増加したものの、受取手形及び売掛金が75,421千円、その他の流動資産が29,340千円、のれんが104,734千円、敷金及び保証金が20,752千円減少したこと等により前期末に比べて97,900千円減少し、1,876,992千円となりました。

負債については、短期借入金が19,500千円増加したものの、買掛金が10,186千円、１年内返済予定を含む長期借入金37,329千円、その他の流動負債が61,385千円、事務所移転費用引当金が23,172千円減少したこと等により前期末に比べて119,472千円減少し、360,433千円となりました。

純資産については、四半期純利益21,382千円の計上により、前期末に比べて21,571千円増加し、1,516,558千円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年９月期の業績見通しにつきましては、当社グループの事業を取り巻く環境が急速に変化し、事業の成長速度を予測することが難しいことから、信頼性の高い通期の業績予想数字を算出することが困難なため、四半期ごとの業績発表時に翌四半期の業績見通しを公表させて頂いております。なお、下記の「平成25年９月期連結累計期間業績予想」は、平成25年９月期第３四半期連結累計期間の実績値に、第４四半期連結会計期間の業績見通しを加算したものとなっております。

ソーシャルゲーム事業については、大型IPタイトル「ビックリマンコレクターズバトル」や、当社としてネイティブアプリ第１弾となる「反逆のシエルアーク」など新作ゲームのリリースを積極的に行い、売上高の増加を目指して参ります。また、一部のタイトルについては、協業先による開発コスト一部負担があるミドルリスク型のビジネスモデルも推進して参ります。

広告事業につきましては、引き続きスマートフォン向けアドネットワーク「ADroute」の売上拡大を目指しております。また、コンテンツ事業につきましては、スマートフォン向け電子書籍の事業拡大を推進して参ります。

平成25年９月期連結累計期間業績予想（平成24年10月１日～平成25年９月30日）

売上高	3,567百万円
営業利益	68百万円
経常利益	77百万円
当期純利益	63百万円

平成25年９月期第４四半期連結会計期間業績予想（平成25年７月１日～平成25年９月30日）

売上高	994百万円
営業利益	48百万円
経常利益	46百万円
四半期純利益	41百万円

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年10月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第３四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年９月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	729,242	840,787
受取手形及び売掛金	555,649	480,228
仕掛品	―	29,415
貯蔵品	1,036	1,799
その他	59,713	30,372
貸倒引当金	△13,353	△13,353
流動資産合計	1,332,289	1,369,250
固定資産		
有形固定資産	32,172	26,099
無形固定資産		
のれん	514,429	409,695
その他	3,961	3,014
無形固定資産合計	518,390	412,709
投資その他の資産		
敷金及び保証金	89,685	68,932
その他	2,354	0
投資その他の資産合計	92,040	68,932
固定資産合計	642,603	507,741
資産合計	1,974,892	1,876,992
負債の部		
流動負債		
買掛金	190,875	180,689
短期借入金	―	19,500
1年内返済予定の長期借入金	10,375	―
未払法人税等	7,066	12,024
賞与引当金	28,258	18,501
ポイント引当金	9,320	7,528
事務所移転費用引当金	23,172	―
その他	182,836	121,450
流動負債合計	451,905	359,695
固定負債		
長期借入金	26,954	―
その他	1,045	738
固定負債合計	27,999	738
負債合計	479,905	360,433
純資産の部		
株主資本		
資本金	563,900	563,900
資本剰余金	1,164,474	1,116,770
利益剰余金	△185,693	△164,310
自己株式	△47,704	―
株主資本合計	1,494,976	1,516,359
新株予約権	9	198
純資産合計	1,494,986	1,516,558
負債純資産合計	1,974,892	1,876,992

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	2,877,823	2,573,305
売上原価	1,679,759	1,560,799
売上総利益	1,198,063	1,012,506
販売費及び一般管理費	967,728	992,189
営業利益	230,335	20,316
営業外収益		
受取利息	213	80
受取配当金	170	33
違約金収入	1,889	－
助成金収入	4,354	11,261
その他	2,210	2,517
営業外収益合計	8,838	13,892
営業外費用		
支払利息	216	279
株式上場関連費用	2,393	2,948
有限責任事業組合整理損	5,031	－
支払手数料	2,400	－
その他	964	37
営業外費用合計	11,006	3,265
経常利益	228,167	30,943
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5,325	－
特別利益合計	5,325	－
特別損失		
役員退職慰労金	5,000	－
特別損失合計	5,000	－
税金等調整前四半期純利益	228,493	30,943
法人税、住民税及び事業税	34,821	9,560
法人税等合計	34,821	9,560
少数株主損益調整前四半期純利益	193,672	21,382
少数株主利益	－	－
四半期純利益	193,672	21,382

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	193,672	21,382
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	－	－
四半期包括利益	193,672	21,382
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	193,672	21,382
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年12月21日付で、自己株式の消却を実施いたしました。この結果、当第３四半期連結累計期間において自己株式と資本剰余金がともに47,704千円減少しております。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成23年10月１日　至　平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	ソーシャルゲーム事業	コンテンツ事業	広告事業	計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	1,138,488	1,091,127	648,206	2,877,823	－	2,877,823
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	12,586	12,586	△12,586	－
計	1,138,488	1,091,127	660,793	2,890,409	△12,586	2,877,823
セグメント利益	188,061	180,265	33,298	401,624	△171,289	230,335

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	401,624
のれんの償却額	△46,113
全社費用（注）	△125,175
四半期連結損益計算書の営業利益	230,335

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

ソーシャルゲーム事業において、株式会社インディソフトウェアの株式取得に伴い、当第３四半期連結累計期間にのれんが199,723千円発生しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成24年10月１日　至　平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	ソーシャルゲーム事業	コンテンツ事業	広告事業	計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	1,312,785	571,722	688,797	2,573,305	－	2,573,305
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	4,175	4,175	△4,175	－
計	1,312,785	571,722	692,973	2,577,481	△4,175	2,573,305
セグメント利益	61,109	66,620	72,137	199,867	△179,550	20,316

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	199,867
のれんの償却額	△46,113
全社費用（注）	△133,437
四半期連結損益計算書の営業利益	20,316

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。